

年間指導計画参考資料(中学校 国語)

2年

…… 学校の授業以外での学習が可能と考えられる教材・学習活動 (赤字は、変更した学習活動)

…… 感染症対策の観点から、指導順序を変更することが考えられる教材・学習活動

学校での授業時数

…… 学校の授業以外での学習時数を差し引いた、学校での授業時数(変更の生じていないものは黒字で表示)

※ なお、年度末までに学習内容が指導しきれなかった場合には、次年度に送ることも考えられる。ただし、その場合、教員間でしっかりと引継ぎをすること。

＜第二学年＞ 総時数140時間のうち「書写」に20時間、「国語」に120時間を配当。そのうち「話すこと・聞くこと」に19時間程度、「書くこと」に31時間程度を当てた。															
単元名	教材名	時数	学校での授業時数	学習目標・学習活動・評価規準						学習指導要領との対応					
				学習目標	学習活動・内容	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	A話すこと・聞くこと	B書くこと	C読むこと	伝統的な言語文化他	
授業開き	おたまじゃくしたち四五匹	0.5	0	●言葉の学習の意義を感じ取る。 ●交流のよさを捉え、進んで交流しようとする姿勢を作る。	●音読を通して、作品を楽しむ味わう。 ●作品の言葉について、その意味を考える。	●言葉の学習の意義を感じ取ろうとしている。 ●交流のよさを捉え、進んで交流しようとしている。	●音読を通して、作品を楽しむ、味わっている。			●矛盾した表現の意味を読み解いている。 ●作品のテーマについて自由に考えている。	●音読によって語感を磨いている。 ●矛盾した表現に着目して読解を深めている。	(1)イオ		(1)アイウオ (2)ア	(1)イ(イ)ウ
一二年架橋	確かで自由な言葉の使い手に	0.5	0.5	●中一での言葉の学習の成果を振り返る。 ●中二での言葉の学習の方向性を理解する。	●「確かで自由な言葉の使い手に」を読んで、中二での言葉の学習の方向性を理解する。	●中一での言葉の学習の成果を振り返ろうとしている。 ●中二での言葉の学習の方向性を理解しようとしている。			●「確かで自由な言葉の使い手に」を読んで、中二での言葉の学習の方向性を理解している。	●正確に使える言語能力と同様に、より自由に使える言語能力も重要であることについて、理解を深めている。			(1)アイエ (2)ア	(1)イ(イ)ウ	
1 絆 ― 仲間と共に	わたしはえのぐをといた (扉詩)	0	0	●音読・暗唱によって語感を磨く。	●音読・暗唱によって語感を磨く。	●音読・暗唱によって語感を磨こうとしている。	●音読・暗唱によって語感を磨いている。			●語感を磨くために音読・暗唱している。	●音読・暗唱によって語感を磨いている。	(1)イ		(1)アエ (2)ア	(1)イ(イ)ウ(ウ)
	●言葉を吟味して自己と言葉との関係を見つめよう● 昔話【必修①】	4	3.5	●言葉による成長を考える。 ●文末表現の特徴と効果を考える。	①記憶と証拠の差異を捉え、説明する。 ①記憶が生きていく支えになる理由を筆者の表現や自分の経験に基づいて考え、交流する。 ②特徴的な文末表現を抜き出し、その効果を考える。 ●言葉の記憶の意義や長所について、ノートなどにまとめる。	●言葉による成長を考えようとしている。 ●文末表現の特徴と効果を考えようとしている。	●記憶と証拠の差異を説明している。 ●言葉の記憶の意義や長所についてまとめている。	●特徴的な文末表現を抜き出している。 ●言葉の記憶の意義や長所についてまとめている。	●記憶と証拠の差異を理解している。 ●記憶が生きていく支えになる理由を、筆者の表現や自分の経験に基づいて理解している。 ●文末表現の特徴と効果を理解している。 ●言葉の記憶の意義や長所について理解している。	●随想の特徴を理解している。 ●文末表現の特徴と効果を理解している。	(1)アイウオ (2)ア	(1)アイエ (2)イ	(1)アイウオ (2)ア	(1)イ(イ)ウ(ウ) (1)ウ(ウ)イ	
				逃げることは、ほんとにひきょうか【必修②】	6	5	●社会の絆を考える。 ●独自の意味を表す表現を捉える。	①キーワードの独自な意味を文脈に即して捉え、キーワードを用いた短文を作って確認する。 ②筆者の主張をまとめ、交流する。 ②筆者の主張が生かされる社会について考え、まとめる。 ●キーワードから、筆者の主張を把握する方法のよさについて、ノートなどにまとめる。 ●筆者の主張と自分の経験を刷り合わせて理解を深める。	●社会の絆を考えようとしている。 ●独自の意味を表す表現を捉えようとしている。	●キーワードの辞書的な意味を調べて、表に記入している。 ●キーワードの独自な意味を考えて、表に記入している。 ●キーワードの独自な意味を生かして短文を作っている。 ●筆者の主張をまとめ、比べ合っている。 ●筆者の主張が生かされる社会について考え、まとめている。 ●キーワードから筆者の主張を把握する方法のよさについてまとめている。	●キーワードの独自な意味を踏まえながら、文脈に即して捉えている。 ●筆者の主張が生かされる社会について考えている。 ●キーワードから筆者の主張を把握する方法のよさについて理解している。 ●筆者の主張と自分の経験を刷り合わせて理解を深めている。	(1)アイウオ (2)ア	(1)アイエ (2)イ	(1)アイウオ (2)イ	(1)イ(イ)ウ(ウ) (1)ウ(ウ)イ

単元名	教材名	時数	学校での授業時数	学習目標・学習活動・評価規準						学習指導要領との対応					
				学習目標	学習活動・内容	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	A話すこと・聞くこと	B書くこと	C読むこと	伝統的な言語文化他	
	吟味された言葉【選択】	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ●家族の絆の深まりを考える。 ●文脈による意味の変化を捉える。 	<ul style="list-style-type: none"> ①光の言葉から受ける通常の印象を踏まえて、作者の母が受けた第一印象を説明する。 ①光の言葉に対する作者の母の印象の変化について説明する。 ①光の言葉の独特な声音を想像し、その声音を伴った場合の、光の言葉の意味について交流する。 ①光の言葉に対する筆者の考察を表す比喩表現を抜き出して主題に迫り、主題を主体的に捉え直して書く。 ②表現を吟味して、光の言葉や光の気持ちに対する筆者や家族の理解の深化について捉え、筆者の理解の深化について書く。 ③家族の言葉に励まされた経験を思い出し、その言葉をかけた者の思いを掘り下げて書く。 ④言葉が文脈の中で独自の意味を持つことについて、まとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●家族の絆の深まりを考えようとしている。 ●文脈による意味の変化を捉えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●光の言葉から受ける通常の印象を踏まえて、作者の母が受けた第一印象を説明している。 ●光の言葉に対する作者の母の印象の変化について説明している。 ●光の言葉の独特な声音を想像し、その声音を伴った場合の光の言葉の意味について交流している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●光の言葉に対する筆者の考察を表す比喩表現を抜き出して主題に迫り、主題を主体的に捉え直して書いている。 ●光の言葉や光の気持ちに対する筆者の理解の深化について書いている。 ●家族の言葉に励まされた経験を思い出し、その言葉をかけた者の思いを掘り下げて書いている。 ●言葉が文脈の中で独自の意味を持つことについて、まとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●光の言葉に対する筆者の考察を表す比喩表現を抜き出して主題に迫り、主題を主体的に捉え直している。 ●表現を吟味して、光の言葉や光の気持ちに対する筆者や家族の理解の深化について理解している。 ●家族の言葉に励まされた経験を思い出し、その言葉をかけた者の思いを掘り下げて捉えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●随想の特徴を理解している。 ●言葉が文脈の中で独自の意味を持つことを理解している。 ●比喩表現について理解している。 	(1)アウエオ	(1)アウエ	(1)アウエオ	(1)イ(イ)ウ(ウ)	
発見する読み 1	幸せなスピード（構成からの確な理解へ〔導入・展開・終結〕）	2	2	<ul style="list-style-type: none"> ●「導入・展開・終結」が、思考の流れを明確にする構成法であることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●事例に即して、「導入・展開・終結」が、思考の流れを明確にする構成法であることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「導入・展開・終結」が、思考の流れを明確にする構成法であることを理解しようとしている。 		<ul style="list-style-type: none"> ●例文の全体や部分で、「導入・展開・終結」に従って、筆者の思考の流れをまとめている。 ●筆者の思考の流れに注意して、全文を一文でまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「導入・展開・終結」が、思考の流れを明確にする構成法であることを事例で確かめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「導入・展開・終結」を吟味して読解を深める方法を理解している。 		(1)アウエ	(1)アウエ	(1)アウエオ	(1)イ(イ)ウ(ウ)
活動を考える 1	人を動かす言葉	0.5	0.5	<ul style="list-style-type: none"> ●人を引きつける言葉を見つける。 	<ul style="list-style-type: none"> ●好きな食べ物の写真を撮り、言葉を吟味して、印象的な文章や印象的なキャッチフレーズを書き、交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●人を引きつける言葉を見つけようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●言葉を吟味して書いた、印象的な文章や印象的なキャッチフレーズについて交流している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●言葉を吟味して印象的な文章や印象的なキャッチフレーズを書いている。 		<ul style="list-style-type: none"> ●印象的な言葉や文章を書くには、言葉の吟味が必要であることを理解している。 	(1)アウエオ	(1)アウエ	(2)ア	(1)アウエオ	(1)イ(イ)ウ(ウ)

単元名	教材名	時数	学校での授業時数	学習目標・学習活動・評価規準						学習指導要領との対応				
				学習目標	学習活動・内容	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	A話すこと・聞くこと	B書くこと	C読むこと	伝統的な言語文化他
話す聞く1	魅力を伝えよう（プレゼンテーション）	3.5	3.5	●プレゼンテーションの方法を身につける。	《企画》 ●プレゼンテーションの条件を確認し、情報収集の分担を決める。 ●集めた情報を出し合って整理する。不足分は追加取材で補う。 ●話し合いによって、整理した情報をプレゼンテーションの条件に従って絞り込み、テーマを定める。 《準備・実施》 ●魅力的なキャッチフレーズを決める。 ●プレゼンテーションのためのワークシートを使って、全体構成を考える。 ●使う資料を用意する。 ●プレゼンテーションのためのワークシートを使って、発表メモを作る。 ●リハーサルを行い、修正する。 ●プレゼンテーションを行う。 《振り返り》 ●活動を振り返り、プレゼンテーションのポイントを重要度順に書き出して、説明する。	●プレゼンテーションの方法を身につけようとしている。	●魅力的なプレゼンテーションにするために、企画から実施まで、グループで話し合っている。 ●さまざまに工夫して魅力的なプレゼンテーションを行っている。 ●学習を振り返り、プレゼンテーションのポイントの重要度について説明している。	●全体構成やさまざまな工夫を整理するために、プレゼンテーションのためのワークシートを活用している。 ●学習を振り返り、プレゼンテーションのポイントを重要度順に書き出している。	●プレゼンテーションのために集めた情報や資料を吟味している。	●学習を振り返り、プレゼンテーションのポイントと方法について理解している。	(1)アイエオ (2)アイ	(1)アイエオ (2)アイ	(1)アイエオ (2)イ	(1)(7)(4)(9)(1)
語を見抜く1	語の読み方	1	1	●漢字の音訓などについて理解する。	●音と訓、呉音・漢音・唐音・慣用音について知り、語を見抜く練習で確かめる。	●音と訓の違いを知り、文脈から語義に従って読み分けようとしている。							(1)(7)(4)	
文法の学習1	動詞・形容詞・形容動詞	1	0.5	●動詞・形容詞・形容動詞の働きについて理解する。	●《動詞》活用形、語幹・活用語尾、動詞の種類、音便、可能動詞、自動詞・他動詞、補助動詞、動詞の転成について知る。 ●《形容詞》活用、語幹・活用語尾、音便、補助形容詞、形容詞の転成、形容詞の識別について知る。 ●《形容動詞》活用、語幹・活用語尾、形容動詞の判定について知る。 ●練習問題で知識を確かめる。	●動詞・形容詞・形容動詞の種類と特徴について知り、その知識を言語活動に生かそうとしている。							(1)(2)	
2 生命 — 命の交差	曲折（扉詩）	0	0	●音読・暗唱によって語感を磨く。	●音読・暗唱によって語感を磨く。	●音読・暗唱によって語感を磨こうとしている。	●音読・暗唱によって語感を磨いている。		●語感を磨くために音読・暗唱している。	●音読・暗唱によって語感を磨いている。	(1)イ		(1)アエ (2)ア	(1)(4)(7)(1)

単元名	教材名	時数	学校での授業時数	学習目標・学習活動・評価規準						学習指導要領との対応				
				学習目標	学習活動・内容	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	A話すこと・聞くこと	B書くこと	C読むこと	伝統的な言語文化他
●言葉を吟味して生きることについての認識を深めよう●	サーカスの馬【必修①】	5	4	●仲間と共にある生を考える。 ●表現の細部から心理を捉える。	①表現の細部を吟味して、仲間の中の「僕」を評価する語り手の視点を捉え、説明する。 ①気持ちを表す表現の細部を吟味して、「僕」の心理の変化を捉え、説明する。 ②馬に対する認識の変化を捉え、説明する。 ②馬に対する認識の変化に伴う「僕」の自己認識の変化を捉え、文章に書いて交流する。 ●「奈々子に」のテーマ「自分を愛すること」と関連づけて作品の主題を捉え、文章に書く。	●仲間と共にある生を考えようとしている。 ●表現の細部から心理を捉えようとしている。	●仲間の中の「僕」を評価する語り手の視点について説明している。 ●気持ちを表す表現の細部に表れた「僕」の心理の変化について説明している。 ●馬に対する認識の変化について説明している。 ●馬に対する認識の変化に伴う「僕」の自己認識の変化について交流している。	●馬に対する認識の変化に伴う「僕」の自己認識の変化について、文章に書いて交流している。 ●「奈々子に」のテーマと関連づけて作品の主題について、文章に書いてある。 ●気持ちを表す表現の細部に表れた「僕」の心理の変化を理解している。 ●馬に馬に対する認識の変化を理解している。 ●馬に対する認識の変化に伴う「僕」の自己認識の変化を理解している。 ●「奈々子に」のテーマと関連づけて作品の主題を理解している。	●小説の特徴を理解している。 ●一人称の語り手と人物の違いを理解している。 ●類似した表現の細部の変化を吟味することで、読解が深まることを理解している。	(1)アイウエ (2)ア	(1)アイウエ (2)ア	(1)アイウエ (2)ア	(1)イ(イ)ウ(ウ) (1)ウ(ウ)イ	
	クリスマスの仕事【必修②】	5	4	●支え合う生を考える。 ●表現の持つ重層的な意味を捉える。	①人間同士は知らないうちに支え合っているという「僕」の発見について、表現に即して多角的に捉え、まとめる。 ②題名などをはじめとして、一つの表現に込められた重層的な意味を捉える。 ③支え合う生き方について、どのように認識を深めたか、内省してノートなどに書く。	●支え合う生を考えようとしている。 ●表現の持つ重層的な意味を捉えようとしている。	●「僕」の発見について、表現に即して多角的に説明している。 ●一つの表現に込められた重層的な意味を説明している。	●「僕」の発見について、端的に書き換えている。 ●支え合う生き方について、どのように認識を深めたか、内省して書いている。	●「僕」の発見について、表現に即して多角的に理解している。 ●一つの表現に込められた重層的な意味を理解している。 ●一つの表現に込められた重層的な意味を捉えることで、読解が深まることを理解している。	(1)アイウエ (2)ア	(1)アイウエ (2)ア	(1)アイウエ (2)ア	(1)イ(イ)ウ(ウ)エ (1)ウ(ウ)イ	
	短歌(解説)	4	4	●言葉の選択を経て短歌が生まれることを理解する。	●言葉の選択を経て短歌などの表現が生まれることの意義を理解する。 ●言葉の選択に着目して短歌を読み深めていく構えを作る。	●言葉の選択を経て短歌が生まれることを理解しようとしている。			●言葉の選択を経て短歌などの表現が生まれることの意義を理解している。 ●言葉の選択を経て短歌などの表現が生まれることの意義を理解している。			(1)アイウエ (2)ア	(1)アイウエ (2)ア	(1)イ(イ)ウ(ウ) (1)ウ(ウ)イ
	短歌十五首	—	—	●短歌に込められた思いや情景を捉える。 ●短歌表現の工夫を捉える。	①作品に表された心情や情景、心情と現実との関わりを捉え、交流する。 ②最も感動した作品について、感動を呼んだ言葉と言葉の工夫を捉え、その感動と工夫を表す音読方法を考えて、交流する。 ③連作短歌に表された出来事の経過や心情を捉える。	●短歌に込められた思いや情景を捉えようとしている。 ●短歌表現の工夫を捉えようとしている。	●作品に表された心情や情景、心情と現実との関わりについて交流している。 ●最も感動した作品について、感動を呼んだ言葉と言葉の工夫を捉え、その感動と工夫を表す音読方法を考えて、交流している。	●作品に表された心情や情景、心情と現実との関わりを読み取っている。 ●最も感動した作品について、感動を呼んだ言葉と言葉の工夫を捉え、その感動と工夫を表す音読方法を考えている。 ●連作短歌に表された出来事の経過や心情の変化を捉えている。	●短歌の特徴を理解している。 ●連作短歌の特徴を理解している。	(1)アイウエ (2)ア		(1)アイウエ (2)ア	(1)イ(イ)ウ(ウ) (1)ウ(ウ)イ	
	地下水	2	1.5	●成長の意味を考える。 ●表現の細部を吟味する。	①文脈に即して、細部の意味を捉える。 ①文脈に即して、比喻表現の意味を捉える。 ②作品を読んで自分の成長について内省したことを文章にしてノートなどに書く。 ③同じ作者の別の作品を読んで、テーマを考え、交流する。	●成長の意味を考えようとしている。 ●表現の細部を吟味しようとしている。	●同じ作者の別の作品を読んで、テーマについて交流する。 ●作品を読んで内省したことを文章に書いている。	●文脈に即して、表現の細部の意味を理解している。 ●文脈に即して、比喻表現の意味を理解している。 ●作品と自分の成長を関わらせて考えている。 ●同じ作者の別の作品を読んで、テーマを考えている。	●散文詩の特徴を理解している。 ●詩的表現の工夫とねらいを理解している。	(1)アイウエ (2)ア	(1)アイウエ (2)ア	(1)アイウエ (2)ア	(1)イ(イ)ウ(ウ) (1)ウ(ウ)イ	

単元名	教材名	時数	学校での授業時数	学習目標・学習活動・評価規準					学習指導要領との対応					
				学習目標	学習活動・内容	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	A話すこと・聞くこと	B書くこと	C読むこと	伝統的な言語文化他
	父のようにはなりたくない【選択】	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ●認識を獲得するまでの変化について考える。 ●体験から認識を引き出す方法を捉える。 	<ul style="list-style-type: none"> ①助詞に着目して、題名を吟味し、考えを書く。 ②サトシの言動を表す表現を吟味し、新しい認識の獲得に踏み出そうとするまでのサトシの気持ちの変化をたどる。 ③語り手が補足した部分が、物語のその後の展開にどのように影響しているかについて、交流する。 ④重層的な意味を持つ表現「やり方」を含む文を抜き出し、その表現がサトシの認識の変化を促す上でどのように有効に働いているかについて、交流する。 ⑤新しい認識の獲得に踏み出そうとしている「サトシ」に、語り手に代わって話しかける文章を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ●認識を獲得するまでの変化について考えようとしている。 ●体験から認識を引き出す方法を捉えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●語り手が補足した部分が、物語のその後の展開にどのように影響しているかについて、交流している。 ●重層的な意味を持つ表現「やり方」が、サトシの認識の変化を促す上でどのように有効に働いているかについて、交流している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●助詞に着目して、題名を吟味し、考えを書いている。 ●重層的な意味を持つ表現「やり方」を含む文を抜き出している。 ●認識の深化に向かおうとしている「サトシ」に、語り手に代わって話しかける文章を書いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●助詞に着目して、題名を吟味している。 ●サトシの言動を表す表現を吟味し、新しい認識の獲得に踏み出そうとするまでの「サトシ」の気持ちの変化を理解している。 ●語り手が補足した部分が、物語のその後の展開にどのように影響しているかについて、理解している。 ●重層的な意味を持つ表現「やり方」が、サトシの認識の変化を促す上でどのように有効に働いているか理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●小説の特徴を理解している。 ●重層的な表現は、異なった体験を関連づけて認識を深めるために有効であることを理解している。 	(1)アイウエ (2)ア	(1)アイエ (2)ア	(1)アイウエ (2)ア	(1)イ(イ)(ウ)(エ)(オ)
活動を考える2	言葉で描き出す	0.5	0.5	<ul style="list-style-type: none"> ●イメージを表す言葉を見つける。 	<ul style="list-style-type: none"> ●写真のイメージに合う詩を選び、選択理由を交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●イメージを表す言葉を見つけようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●写真のイメージに合う詩を選び、選択理由も含めて交流している。 		<ul style="list-style-type: none"> ●写真のイメージに合う詩はどちらか、吟味している。 ●言葉にイメージを喚起する力があることを理解している。 	(1)アイウエ (2)ア		(1)アイウエ (2)ア	(1)イ(イ)(ウ)(エ)(オ)	
書く1	想像する言葉（創作）	3.5	2.5	<ul style="list-style-type: none"> ●想像を膨らませて物語や詩を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ●次の手順で絵を見て物語を作る。 ①ピカソの絵を見て、人物の様子や状態について、浮かんだ言葉を書く。 ②ピカソの絵や絵の組み合わせを見て想像を膨らませ、想像したことを出し合って、物語の素材とする絵を決める。 ③物語の語り手、場面設定、展開などを決める。 ④絵を見なくても読者が想像できるように書き出しや語り方を工夫して、物語を書く。 ●次の手順で絵を見て詩を作る。 ①クレーの絵を見て浮かんでくる印象、言葉、発想を詩行に書き留める。 ②書き留めた詩行を自由に組み合わせて詩にまとめ、読み合う。 ③同じ絵を見て作った谷川俊太郎の詩を読んで理解する。 ④谷川の詩と自分の詩を比べて、違いを考える。 ⑤好きな絵から受けた印象を詩にまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●想像を膨らませて物語や詩を書こうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ピカソの絵や絵の組み合わせを見て想像を膨らませ、想像したことを出し合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ピカソの絵や絵の組み合わせを見て想像を膨らませ、浮かんだ言葉を書いている。 ●絵を見なくても読者が想像できるように書き出しや語り方を工夫して、物語を書いている。 ●クレーの絵を見て浮かんでくる印象、言葉、発想を詩行に書き留めている。 ●書き留めた詩行を自由に組み合わせて詩にまとめ、読み合っている。 ●好きな絵から受けた印象を詩にもとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ピカソの絵や絵の組み合わせを見て想像を膨らませ、物語の素材とする絵を決めている。 ●自分の想像にふさわしい物語の語り手、場面設定、展開などを決めている。 ●クレーの絵の印象を書き留めた詩行を自由に組み合わせさせて詩にまとめ、読み合っている。 ●クレーの絵を見て作った谷川俊太郎の詩を読んで理解している。 ●クレーの絵を見て作った谷川俊太郎の詩と、自分の詩を比べて、違いを考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●語り手や場面の設定、展開などの物語の文法について理解している。 ●物語の文法よりも自由な、詩の文法について理解している。 	(1)アイウエ (2)ア	(1)アイウエ (2)ア	(1)アイウエ (2)ア	(1)イ(イ)(ウ)(エ)

単元名	教材名	時数	学校での授業時数	学習目標・学習活動・評価規準					学習指導要領との対応					
				学習目標	学習活動・内容	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	A話すこと・聞くこと	B書くこと	C読むこと	伝統的な言語文化他
語を見抜く 2	熟字訓・湯桶読み・重箱読み	1	1	●熟字訓・湯桶読み・重箱読みについて理解する。	●熟字訓・湯桶読み・重箱読みについて知り、語を見抜く練習で確かめる。	●熟字訓・湯桶読み・重箱読みに関心を持ち、身の回りの語で確かめようとしている。				●主な熟字訓・湯桶読み・重箱読みの語を知り、話し言葉として誤りなく的確に使いこなす態度を身につけている。				(1)㉑(7)(4)
文法の学習 2	助動詞①	1	0.5	●助動詞の種類と働きについて理解する。	●主な助動詞の用法について知る。 ●練習問題で知識を確かめる。	●助動詞について知り、その知識を言語活動に生かそうとしている。				●助動詞についての見方、考え方、知識を身につけている。				(1)㉑(±)
情報と表現 1	情報を読む・世界を編集する（編集）	4	4	●情報を見つめ、見極める力を身につける。	●池上彰の文章を読んでカットの結合が新しい意味や効果を生み出すことを理解する。 ●四つのカットの結合や並べ替えて、所定の意味を持つ物語を作り、友達のものとは比べることによって、順番の違いや繰り返しからどのような意味や効果が生み出されるか考える。 ●さまざまなメディアの表現にはどのような編集が施されているか、その効果は何か、例をもとにしながら考える。 ●身近な印刷物を持ち寄って、どのような編集が行われているか、編集の意図は何か、編集の効果はどうかなどについてグループで話し合い、検討結果を分類して模造紙にまとめ、発表する。 ●学習活動を振り返りながら、情報の背後に人を感じ取ることや情報がどのように編集されているかということについて、気づいたことを短い文章にまとめて発表する。	●情報を見つめ、見極める力を身につけようとしている。	●身近な印刷物で、どのような編集が行われているか、編集の意図は何か、編集の効果はどうかなどについてグループで話し合い、検討結果を分類して模造紙にまとめ、発表している。 ●学習活動を振り返りながら、情報がどのように編集されているかということについて、気づいたことを短い文章にまとめて発表している。	●身近な印刷物で、どのような編集が行われているか、編集の意図は何か、編集の効果はどうかなどについてグループで話し合い、検討結果を分類して模造紙にまとめ、発表している。 ●学習活動を振り返りながら、情報がどのように編集されているかということについて、気づいたことを短い文章にまとめて発表している。	●池上彰の文章を読んでカットの結合が新しい意味や効果を生み出すことを理解している。 ●四つのカットを組み合わせ、所定の意味を持つ物語を作ることができている。また、友達の作った物語との共通点や相違点に気づき、編集によって生まれた意味や効果を理解している。 ●さまざまなメディアの表現における編集の効果について理解している。 ●多様なメディアが流す情報に接する当たって、流した主体や、編集の意図を見極めることが重要であることを理解している。	(1)㉑㉒㉓	(1)㉑㉒㉓	(1)㉑㉒㉓		(1)㉑(4)(7)(4)
読書 1	坊っちゃん（一・抄）・孫が読む漱石	5	3	●小説の見方・読み方を学ぶ。	①「坊っちゃん」を読んで初発の感想を書く。 ②夏目房之助の評論を読んで、内容を観点ごとに整理する。 ③整理した観点を参照して、初発の感想を書き直す。 ④書き直した感想を読み合い、共通点や相違点を確認する。	●小説の見方・読み方を学ぶようとしている。	●書き直した感想を読み合い、共通点や相違点を確認し、交流している。	●「坊っちゃん」を読んで初発の感想を書いている。 ●夏目房之助の評論を読んで、内容を観点ごとに整理している。 ●整理した観点を参照して、初発の感想を書き直している。	●夏目房之助の読みと自分の読みを比べて、作品の新たな見方・読み方について理解している。 ●自分の感想と友達の感想を比べて、多様な読みが可能であることを理解している。	●近代小説の特徴を理解している。	(1)㉑㉒㉓	(1)㉑㉒㉓	(1)㉑㉒㉓	(1)㉑(7)(4)(9)(4)
										(2)㉑	(2)㉑	(2)㉑		(1)㉑(7)(4)

単元名	教材名	時数	学校での授業時数	学習目標・学習活動・評価規準							学習指導要領との対応				
				学習目標	学習活動・内容	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	A話すこと・聞くこと	B書くこと	C読むこと	伝統的な言語文化他	
3 群像 ― 発見と行動 ●言葉を吟味して人間の内面と行動について考えよう●	私たちは火花のように（扉詩）	0	0	●音読・暗唱によって語感を磨く。	●音読・暗唱によって語感を磨く。	●音読・暗唱によって語感を磨こうとしている。	●音読・暗唱によって語感を磨いている。			●語感を磨くために音読・暗唱している。	●音読・暗唱によって語感を磨いている。	(1)イ		(1)アエ (2)ア	(1)イ(1)(ウ)(ク)
	種をまく人【必修①】	5	3	●信頼関係が生まれる過程を考える。 ●人物像を捉える。	①キム・アナ・ウェンデルの性別・年齢・ルーツ・境遇を表に整理して、三人の人物像を捉える。 ①「空き地」に出会う前の、三人の町に対する見方や関わり方について書く。 ②「空き地」につながり、三人の信頼関係が生まれる契機について書く。 ②「種」の象徴的な意味について交流して捉える。 ●人物像や内容の理解に基づいて、グループで朗読の仕方を工夫し、発表する。	●信頼関係が生まれる過程を考えようとしている。 ●人物像を捉えようとしている。	●「種」の象徴的な意味について交流している。 ●人物像や内容の理解に基づいて、グループで朗読を工夫し、発表している。	●三人の町に対する見方や関わり方について書いている。 ●三人の信頼関係が生まれる契機について書いている。	●三人の町に対する見方や関わり方について理解している。 ●三人の信頼関係が生まれる契機について理解している。 ●「種」の象徴的な意味について理解している。	●小説の特徴を理解している。	(1)アイウオ (2)ア	(1)アウエ (2)イ	(1)アイウオ (2)ア	(1)イ(1)(ウ)(ク) (1)ウ(7)(1)	
	走れメロス【必修②】	6	5	●信頼関係の動揺について考える。 ●視点を変えて出来事や心情を捉える。	①人物や事件を経過に沿って整理して通覧する。 ①メロスが動揺する部分での語りの構造を正確に捉えるために、メロスの言葉・メロスの心中の言葉・語り手の言葉を抜き出して整理し、結果を発表・交流する。 ①メロスを指す語の変化など表現の細部の変化を吟味して、メロスの動揺とそこからの回復を捉えている。 ②複数の語り手が想定できる表現について交流し、多様な読みの可能性に気づく。 ②それぞれの読みに即して主題を捉えた文章を書き、それを読み合って中心人物と主題の捉え方の違いに気づく。 ●メロス以外の人物の視点から、出来事を振り返る独白をノートなどに書く。	●信頼関係の動揺について考えようとしている。 ●視点を変えて出来事や心情を捉えようとしている。	●メロスが動揺する部分での、メロスの言葉・メロスの心中の言葉・語り手の言葉を抜き出して整理し、結果を発表・交流している。 ●複数の語り手が想定できる表現について交流している。	●メロスが動揺する部分での、メロスの言葉・メロスの心中の言葉・語り手の言葉を抜き出して整理している。 ●それぞれの読みに即して主題を捉えた文章を書いている。 ●メロス以外の人物の視点から、出来事を振り返る独白を書いている。	●メロスが動揺する部分での語りの構造を正確に捉えている。 ●メロスを指す語の変化など表現の細部の変化を吟味して、メロスの動揺とそこからの回復を捉えている。 ●複数の語り手が想定できる表現について交流し、多様な読みの可能性に気づいている。 ●読みによって、中心人物と主題の捉え方が違うことに気づいている。 ●視点人物を変更することによって、読解が広がり深まることに気づいている。	●小説の特徴を理解している。	(1)アイウオ (2)ア	(1)アイウオ (2)ア	(1)アイウオ (2)ア	(1)イ(1)(ウ)(ク) (1)ウ(7)(1)	
花いちもんめ【選択】	0	0	●運命に抗う生き方について考える。 ●戯曲表現の技法と特色を捉える。	①母と娘の言行を吟味し、掘り下げて捉える。 ①「花いちもんめ」の歌に対する母と娘の思いの差異を捉え、せりふに書く。 ①再会を拒む母の考えについて意見を交流する。 ②ト書きに書かれた、照明や音響の効果や役割を考える。 ③強い印象を受けた部分を工夫して朗読発表し、聞き手の感想から改善の方向を探る。	●運命に抗う生き方について考えようとしている。 ●戯曲表現の技法と特色を捉えようとしている。	●再会を拒む母の考えについて意見を交流している。 ●強い印象を受けた部分を工夫して朗読発表し、聞き手の感想から改善の方向を探っている。		●「花いちもんめ」の歌に対する母と娘の思いの差異をせりふに書いている。	●母と娘の言行について、掘り下げて捉えている。 ●「花いちもんめ」の歌に対する母と娘の思いの差異を理解している。 ●再会を拒む母の考えを理解している。 ●ト書きに書かれた、照明や音響の効果や役割を理解している。	●戯曲の特徴を理解している。 ●ト書きの効果や役割を理解している。	(1)アイウオ (2)ア	(1)アウエ (2)ア	(1)アイウオ (2)ア	(1)イ(1)(ウ)(ク)	

単元名	教材名	時数	学校での授業時数	学習目標・学習活動・評価規準						学習指導要領との対応				
				学習目標	学習活動・内容	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	A話すこと・聞くこと	B書くこと	C読むこと	伝統的な言語文化他
発見する読み2	読解を促す布石の発見（「伏線」から読み深める）	2	2	●伏線に注意して読み直すことで、読解を深める。	●作品のテーマに即して、伏線を見つける。	●伏線に注意して読み直すことで、読解を深めようとしている。		●作品のテーマに即して、伏線を拾い出している。	●伏線に注意して読み直している。	●読み深めを促す伏線の役割について理解している。		(1)ア	(1)アイエ (2)ア	(1)イ(イ)(ウ)(エ)
活動を考える3	よりよい判断に向けて	0.5	0.5	●議論を深める方法について考える。	●議論が成り立たず行動で解決した例を既習教材から思い出す。 ●ディベートの趣旨を理解する。 ●議論がかみ合わず深まらないため判断が出せない討議例を読んで、ディベートの有効性を捉える。	●議論を深める方法について考えようとしている。			●議論がかみ合わず深まらないため判断が出せない討議例を読んでいる。	●ディベートの趣旨と有効性について理解している。			(1)アイエ (2)イ	(1)イ(イ)(ウ)(エ)
話す聞く2	対立した立場で意見を深める（ディベート）	4.5	4.5	●意見を深める方法を知り、実践する。	●ディベートの趣旨や特徴を理解する。 ●ディベートの手順を知り、実際に論題を選び、立論のための情報収集などの準備を行って、ディベートを実践する。 ●立場を離れて自由に話し合う場を設け、ディベートで深まった議論や自分の考えを振り返り、書いてまとめる。	●意見を深める方法を知り、実践しようとしている。	●自分の主張とそれを裏づけるデータを、十分な論拠で関係づけて、説得力のある肯定側立論を行っている。 ●相手の主張とそれを裏づけるデータ、および主張とデータがどのような論拠で関係づけられているかを的確に把握するために、メモを取りながら聞き取ったりしている。 ●相手の主張を裏づけるデータの不足や、主張とデータを関係づける論拠の不備を的確に突いて、反対尋問を行っている。 ●肯定側立論と反対尋問の中で論破されたり不備だったりした論点を除き、最終的に残った論点の重要性によって、勝敗を判定している。	●反対尋問への対応も考慮し、論点が明確な立論を行うために必要なデータを収集している。 ●相手の主張などを的確に把握するためにメモを取っている。 ●ディベートで深まった議論や自分の考えを振り返り、書いている。	●ディベートの趣旨や特徴を理解している。 ●ディベートの手順を理解している。 ●肯定側立論や反対尋問の仕方、論点の構成方法や検証方法、判定の規準などについて理解している。	(1)アイエ (2)ア	(1)アイエ (2)イ	(2)ウ	(1)イ(イ)(ウ)(エ)	
語を見抜く3	同音異字・同訓異字	1	1	●同音異字・同訓異字・同音異義語について理解する。	●同音異字・同訓異字・同音異義語について知り、語を見抜く練習で確かめる。	●文脈から語義を読み取り、同音異義語・同訓異字を書き分けようとしている。				●主な同音異義語・同訓異字を知り、文脈に留意して、同音異義語・同訓異字を書き分ける態度を身につけている。				(1)ウ(ウ)(イ)
文法の学習3	助動詞②	1	0.5	●助動詞の種類と働きについて理解する。	●主な助動詞の用法について知る。 ●練習問題で知識を確かめる。	●助動詞について知り、その知識を言語活動に生かそうとしている。				●助動詞についての見方、考え方、知識を身につけている。				(1)イ(イ)
表現に向かう読み	若者が文化を創造する	4	2	◎評論から学んだことをもとに、構成を考えて文章を書く。 ●文化とは何かを考える。 ●段落相互の関係を整理して読む。	①文化成立の三要件に三つの具体例が当てはまるか、表に整理して吟味する。 ②意味段落に分けて小見出しをつけ、段落相互の関係を捉えて図示し、段落相互の関係に着目して筆者が伝えたいことをまとめる。 ◎評論から学んだ段落構成にならって、「～とは何か」というテーマで文章を書く。	◎評論から学んだことをもとに、構成を考えて文章を書こうとしている。 ●文化とは何かを考えようとしている。 ●段落相互の関係を整理して読もうとしている。	●文化成立の三要件に三つの具体例が当てはまるか、表に整理している。 ●意味段落に小見出しをつけ、段落相互の関係を図示し、段落相互の関係に着目して筆者が伝えたいことをまとめている。	●文化成立の三要件に三つの具体例が当てはまるか、表に整理して吟味している。 ●意味段落に小見出しをつけ、段落相互の関係を図示し、段落相互の関係に着目して筆者が伝えたいことを理解している。 ◎評論から学んだ段落構成にならって、「～とは何か」というテーマで文章を書いている。	●評論の特徴を理解している。 ●意味段落相互の関係に留意し、構成の整った文章を書くことができた。	(1)アイエ (2)イ	(1)アイエ (2)ウ	(1)イ(イ)(ウ)(エ)		
4 伝統 — 時の中で	少年（屏詩）	0	0	●音読・暗唱によって語感を磨く。	●音読・暗唱によって語感を磨く。	●音読・暗唱によって語感を磨こうとしている。	●音読・暗唱によって語感を磨いている。		●語感を磨くために音読・暗唱している。	●音読・暗唱によって語感を磨いている。	(1)イ	(1)アエ (2)ア	(1)イ(イ)(ウ)(エ)	

単元名	教材名	時数	学校での授業時数	学習目標・学習活動・評価規準						学習指導要領との対応						
				学習目標	学習活動・内容	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	A話すこと・聞くこと	B書くこと	C読むこと	伝統的な言語文化他		
●古典の言葉が持つ力と魅力を発見しよう●	言葉の力	1	1	●「言葉の力」について理解する。 ●「言葉の力」を踏まえて、古典の読みの構えを作る。	●言語生活を振り返り「言葉の力」を捉える。 ●「言葉の力」を踏まえた古典の読みの構えを作る。	●「言葉の力」について理解しようとしている。 ●「言葉の力」を踏まえて、古典の読みの構えを作ろうとしている。				●言語生活を振り返り、思索を深め出来事を再構成する「言葉の力」を捉えている。	●「言葉の力」に留意した読みの必要性を理解している。			(1)アイ (1)ウイ	(1)ア(イ)	(1)ウ(イ)
	平家物語（源平争乱の歴史語り）	5	4	●語り方に着目して、登場人物の人物像や心情を捉える。 ●場面ごとの登場人物の心情を想像して朗読する。	①語り方に着目して、「敦盛」と「直実」の人物像を対比してまとめる。 ①「直実」の気持ちの変化を語られた出来事の推移に即してまとめる。 ①「直実」の葛藤を文章に書く。 ②全体をいくつかの場面に分け、場面ごとの登場人物の心情にふさわしい読み方を話し合っ決めて、朗読する。 ●「敦盛の最期」を語る語り手の思いを想像し、それにふさわしいように工夫して冒頭文を音読・暗唱する。	●語り方に着目して、登場人物の人物像や心情を捉えようとしている。 ●場面ごとの登場人物の心情を想像して朗読しようとしている。	●場面ごとの登場人物の心情に、ふさわしい読み方を話し合っ決めて、朗読している。 ●「敦盛の最期」を語る語り手の思いをにふさわしいように工夫して冒頭文を音読・暗唱している。	●語り方に着目して、「敦盛」と「直実」の人物像を対比してまとめている。 ●「直実」の気持ちの変化を語られた出来事の推移に即してまとめている。 ●「直実」の葛藤について文章に書いている。	●語り方に着目して、「敦盛」と「直実」の人物像を対比して捉えている。 ●「直実」の葛藤を捉えている。 ●全体をいくつかの場面に分けている。	●軍記物の特徴を理解している。 ●語り方への着目が読解を深めることを理解している。 ●音読・朗読・暗唱の工夫の仕方を理解している。	(1)アイ (2)ウ	(1)アウ (2)イ	(1)アウ (2)イ	(1)ア(イ)	(1)ウ(イ)	
	徒然草（人の世と人の心のスケッチ）	4	4	●語り方に着目して、筆者の発見を掘り下げる。 ●筆者の発見がよく伝わるように音読する。	《高名の木登り》 ①「高名の木登り」が、出来事とそれについてのコメントで構成されていることを捉える。 ①「木登り」や「聖人」に対する語り方に着目して、筆者の思考の広がり捉え、交流する。 《猫また》 ①「猫また」の話題に続けるコメントを、トオマス・マンの言葉を用いて書く。 ②聞き手に自分の発見を伝えようとする作者の姿や口調を想像し、その想像を生かして音読する。 《序段》 ①二三五段を参照して、「序段」で作者が「心」をどのようなものだと考えているか、話し合う。 ●「心」などについての作者の発見の驚きが表れるように、「序段」を音読・暗唱する。	●語り方に着目して、筆者の発見を掘り下げようとしている。 ●筆者の発見がよく伝わるように音読しようとしている。	●「木登り」や「聖人」に対する語り方に着目して、筆者の思考の広がりについて話し合っている。 ●聞き手に自分の発見を伝えようとする作者の姿や口調を想像し、その想像を生かして音読している。 ●二三五段を参照して、「序段」で作者が「心」をどのようなものだと考えているかについて話し合っている。 ●「心」などについての作者の発見の驚きが表れるように、「序段」を音読・暗唱している。	●「高名の木登り」が、出来事とそれについてのコメントで構成されていることを捉えている。 ●「木登り」や「聖人」に対する語り方に着目して、筆者の思考の広がり捉えている。 ●二三五段を参照して、「序段」で作者が「心」を不定形で不安定なものと考えていたことを捉えている。 ●「猫また」の話題に続けるコメントを、トオマス・マンの言葉を用いて書いている。	●随筆の特徴を理解している。 ●語り方への着目が読解を深めることを理解している。 ●音読・朗読・暗唱の工夫の仕方を理解している。	(1)アウ (2)イ	(1)アウ (2)イ	(1)アウ (2)イ	(1)ア(イ)	(1)ウ(イ)	(1)ウ(イ)	

単元名	教材名	時数	学校での授業時数	学習目標・学習活動・評価規準						学習指導要領との対応				
				学習目標	学習活動・内容	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	A話すこと・聞くこと	B書くこと	C読むこと	伝統的な言語文化他
	論語	4	3	<ul style="list-style-type: none"> ●思索の内容を自分の知識や経験などで補い、生き生きと捉える。 ●漢文でよく出てくる字(助字)に注意して訓読し、漢文の訓読に親しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ①現代の言語・思想・生活と「論語」を関連させ、交流を通じて「論語」を理解する。 ①言葉や対話が生まれた場面を想像し、交流を通じて「論語」を理解する。 ②助字に注意して音読し、訓読調に親しむ。 ●歴史小説「孔子」から感動を伴う知の更新の様子を捉えて、ノートなどに感想を書き、「論語」についての理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ●思索の内容を自分の知識や経験などで補い、生き生きと捉えようとしている。 ●漢文でよく出てくる字(助字)に注意して訓読し、漢文の訓読に親しもうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●現代の言語・思想・生活と「論語」の関連について出し合っている。 ●言葉や対話が生まれた場面について、想像したことを出し合っている。 ●助字に注意して音読している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●歴史小説「孔子」から感動を伴う知の更新の様子を捉えて、感想などを書いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●現代の言語・思想・生活と「論語」の関連を考えている。 ●「論語」の言葉や対話を、それが生まれた場面に位置づけて考えている。 ●歴史小説「孔子」から感動を伴う知の更新の様子を捉え、「論語」の理解を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●漢文の特徴を理解している。 ●訓読法に慣れ、訓読調に親しんでいる。 	(1)アイエオ (2)ア	(1)アイエ (2)イ	(1)アイエオ (2)イ	(1)ア(イ) (1)イ(イ)(イ)(イ) (1)ウ(ア)(イ)
古典読書	古典芸能に見られる古典解釈	2	2	<ul style="list-style-type: none"> ●謡曲と「平家物語」の原話を比べて、謡曲作者の「平家物語」受容のあり方を理解する。 ●伝統文化は、読者の能動的な受容によって、媒体の違いを超えて、継承されてきたことを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「平家物語」の原話を振り返りながら、謡曲「敦盛」とその解説を読んで理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●謡曲と「平家物語」の原話を比べて、謡曲作者の「平家物語」受容のあり方を理解しようとしている。 ●伝統文化は、読者の能動的な受容によって、媒体の違いを超えて、継承されてきたことを理解しようとしている。 		<ul style="list-style-type: none"> ●謡曲「敦盛」と「平家物語」の原話を比べて、謡曲作者の「平家物語」受容のあり方を理解している。 ●伝統文化は、読者の能動的な受容によって、媒体の違いを超えて、継承されてきたことを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●謡曲の特徴を理解している。 ●読者の能動的な受容によって伝統文化が継承されてきたことを理解している。 			(1)アイエオ (2)アイ	(1)ア(イ) (1)イ(ア)(イ)(イ)(イ)	
活動を考える4	効果的に伝える	0.5	0.5	<ul style="list-style-type: none"> ●意見を効果的に伝えるための言葉の工夫について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「論語」の一節から、意見を効果的に伝えるための第一要件を捉える。 ●「徒然草」の一から、意見を効果的に伝えるための第二要件を捉える。 	<ul style="list-style-type: none"> 意見を効果的に伝えるための言葉の工夫について考えようとしている。 		<ul style="list-style-type: none"> ●意見を効果的に伝えるための第一要件は、独自で多角的な分析・整理であることを理解している。 ●意見を効果的に伝えるための第二要件は、共感を呼ぶ述べ方の工夫であることを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●意見を効果的に伝えるための要件を理解している。 			(1)アイエ (2)イ	(1)ア(イ) (1)イ(イ)(イ)(イ)	
書く2	意見文を書こう	2.5	1.5	<ul style="list-style-type: none"> ●意見を効果的に述べる文章の作り方を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ●中学生が書いた意見文例を参照しながら、次の手順で意見文を書く。 ①題材選びカードや交流によって、論じるに値する問題点がある題材を見つける。 ②その問題点についての主張をまとめる。 ③組み立てを決める。 ④組み立てに従って書く。 ⑤書いた意見文を読み合い、交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●意見を効果的に述べる文章の作り方を知らうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●論じるに値する問題点がある題材を見つけるために交流している。 ●書いた意見文を読み合い、感想を述べ合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●題材選びカードに題材候補を書き出し、それが論じるに値する理由を書く。 ●題材の問題点について自分の主張をまとめ、その根拠になる具体例を探している。 ●序論・本論・結論(主張・主張の根拠・主張のまとめ)の構成で意見文を書いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●意見文を書くために、中学生が書いた意見文例を読んでいる。 ●書いた意見文を読み合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「序論・本論・結論」の構成と、「本論」の展開の仕方を理解している。 	(1)アイエオ (2)ア	(1)アイエオ (2)イ	(1)アイエオ (2)イ	(1)イ(イ)(イ)(イ)

単元名	教材名	時数	学校での授業時数	学習目標・学習活動・評価規準							学習指導要領との対応				
				学習目標	学習活動・内容	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	A話すこと・聞くこと	B書くこと	C読むこと	伝統的な言語文化他	
語を見抜く 4	熟語の構成	1	1	●熟語の構成について理解する。	●二字熟語の構成が三類七型に整理されること、接頭辞・接尾辞のついた熟語のあること、熟語が組み合わされた語にはもとの語の下の部分を省略した略語のあることを知り、三字熟語の構成、四字熟語の構成に及ぼして、語を見抜く練習で確かめる。	●漢字一字一字に注目して、熟語の構成を考え、語義を推測しようとしている。					●未知の語に出会った時、熟語の構成を考え、語義を推測する方法を身につけている。				(1)イ(7)(イ)
文法の学習 4	助詞	1	0.5	●助詞の働きについて理解する。	●助詞、助詞の種類について知る。 ●練習問題で確かめる。	●助詞について知り、その知識を言語活動に生かそうとしている。					●助詞についての見方、考え方、知識を身につけている。				(1)イ(エ)
言葉と生活・言葉と文化	相手や場面（話し言葉・方言・敬語他）	2	2	●話し言葉と書き言葉、方言と共通語、敬語について理解する。	●話し言葉と書き言葉、方言と共通語、敬語について、言語生活の事例などに基づいて理解する。	●話し言葉と書き言葉、方言と共通語、敬語について知り、その知識を言語生活に生かそうとしている。					●日本語の主体的な継承者として母語を捉える態度を身につけている。				(1)イ(7) (1)イ(7)(イ)
5 世界 ― 状況の中で ●言葉を吟味して状況と人間の関わりを捉えよう●	湖水（屏詩）	0	0	●音読・暗唱によって語感を磨く。	●音読・暗唱によって語感を磨く。	●音読・暗唱によって語感を磨こうとしている。	●音読・暗唱によって語感を磨いている。			●語感を磨くために音読・暗唱している。	●音読・暗唱によって語感を磨いている。	(1)イ		(1)アエ (2)ア	(1)イ(7) (1)イ(7)(イ)
	目撃者の眼・挨拶【必修①】	4	3	●状況との向き合い方を考える。 ●写真表現と言語表現の違いや特長を捉える。	●写真だけを見て、受けた印象などを出し合い、交流する。 ①オダネルの随想から、状況と向き合う彼の思いを読み取って短文にまとめ、ノートなどに書く。 ②オダネルの随想と石垣の詩に込められた共通の思いを捉え、それぞれの置かれた状況の違いや状況への向き合い方の違いを捉えて、交流する。 ●写真と言葉の表現の違い、表現力の違いについて、交流する。	●状況との向き合い方を考えようとしている。 ●写真表現と言語表現の違いや特長を捉えようとしている。	●写真だけを見て、受けた印象などを出し合い、交流している。 ●オダネルの随想と石垣の詩に込められた共通の思いや、それぞれの置かれた状況の違い、状況への向き合い方の違いについて、交流している。 ●写真と言葉の表現の違い、表現力の違いについて、交流している。	●状況と向き合うオダネルの思いを短文にまとめている。 ●写真と言葉の表現の違い、表現力の違いについて書いている。	●状況と向き合うオダネルの思いを読み取っている。 ●オダネルの随想と石垣の詩に込められた共通の思いを捉え、それぞれの置かれた状況の違いや状況への向き合い方の違いを捉えている。 ●写真と言葉の表現の違い、表現力の違いを捉えている。	●随想・詩の特徴を理解している。 ●写真と言葉との表現の違い、表現力の違いについて理解している。	(1)アイエオ (2)アイ	(1)アイエ (2)イ	(1)アイエオ (2)アイ	(1)イ(7)(イ) (1)イ(7)(イ)	
	アラスカとの出会い【必修②】	4	2	●他者との関わりを求める自己を考える。 ●構成や展開の工夫を捉える。	①筆者の人生を方向づけた偶然な出会いについて整理する。 ①「人生はからくり満ちている」という表現の意味とそこに込められた筆者の思いについて、説明を書く。 ②文章の構成・展開を捉え、より単純な構成・展開のものと比較して、その工夫について考え、交流する。 ●人生を方向づける出会いの不思議さについて、考えたことをノートなどに書く。	●他者との関わりを求める自己を考えようとしている。 ●構成や展開の工夫を捉えようとしている。	●筆者の人生を方向づけた偶然な他者や本との出会いや関わりについて、整理している。 ●筆者の人生を方向づけた他者や本との出会いや関わりとの偶然性と、それについての筆者の思いを文章で説明している。 ●人生を方向づける他者や本との出会いや関わり不思議さについて、作品を読んで考えたことを書いている。	●偶然な他者や本との出会いや関わりが、筆者の人生を決定的に方向づけてしまう不思議さについて理解する。 ●文章の構成・展開を捉え、その工夫について理解している。	●随想の特徴を理解している。 ●文章の構成・展開の工夫について理解している。	(1)アイエオ (2)アイ	(1)アイエ (2)イ	(1)アイエオ (2)アウ	(1)イ(7)(イ) (1)イ(7)(イ)		

単元名	教材名	時数	学校での授業時数	学習目標・学習活動・評価規準						学習指導要領との対応				
				学習目標	学習活動・内容	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	A話すこと・聞くこと	B書くこと	C読むこと	伝統的な言語文化他
	プロセスの建築【選択】	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ●物を作るということを通じた社会との関わりについて考える。 ●体験を文章化する方法を捉える。 	<ol style="list-style-type: none"> ①ワッツ・タワーの特徴を整理し、タワーが「プロセスの建築」である理由を書く。 ①筆者の製作体験とワッツ・タワーの製作の共通点を書く。 ②ワッツ・タワーに関する表現に込められた筆者の共感を説明する。 ②ワッツ・タワーとロサンゼルス社会との関わりから、タワーがロサンゼルスにあることの象徴的意味を考え、交流する。 ③ワッツ・タワーについて、根拠を挙げて自分自身の考えを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ●物を作るということを通じた社会との関わりについて考えようとしている。 ●体験を文章化する方法を捉えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ワッツ・タワーに関する表現に込められた筆者の共感を説明している。 ●ワッツ・タワーとロサンゼルス社会との関わりから、タワーがロサンゼルスにあることの象徴的意味を考え、交流している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ワッツ・タワーの特徴を整理し、タワーが「プロセスの建築」である理由を書いている。 ●ワッツ・タワーについて、根拠を挙げて自分自身の考えを書いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ワッツ・タワーの特徴を捉え、タワーが「プロセスの建築」である理由を理解している。 ●ワッツ・タワーに関する表現に込められた筆者の共感を理解している。 ●ワッツ・タワーとロサンゼルス社会との関わりから、タワーがロサンゼルスにあることの象徴的意味を理解している。 ●ワッツ・タワーについて、根拠を挙げて自分なりに考察している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●評論の特徴を理解している。 ●体験や思いを表現する工夫について理解している。 	(1)アイウエ	(1)アイウエ	(1)アイウエ	(1)イ(イ)ウ(ウ)
発見する読み3	「現在」を深く捉えるために（「回想」の大切さ）	1	0.5	<ul style="list-style-type: none"> ●言葉によって過去や記憶を定着する回想表現は、現在の自分の立脚点を明確にするために重要であることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「記憶」を粗末することを批判した詩を読んで、作者の決意を説明する。 ●深く豊かな人間関係築くために「記憶」が重要であることを小説から読み取り、交流する。 ●既習教材「少年の日の思い出」を回想表現という観点から読み直す。 	<ul style="list-style-type: none"> ●回想表現の人間にとっての重要性を理解しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●詩に書かれた批判と作者の決意を説明している。 ●小説から人間関係についての「記憶」の重要性を読み取り、交流している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●詩に書かれた批判と作者の決意について書いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●詩・小説の特徴を理解している。 ●記憶や回想表現の人間にとっての重要性を理解している。 ●既習教材を回想表現という観点から読み直している。 	(1)アイウエ	(1)アイウエ	(1)アイウエ	(1)イ(イ)ウ(ウ)	
語を見抜く5	特別な用語	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ●特別な分野で使われる語について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●更迭・派閥など社会に用いて用いる語、嫡子・嗣子・婚姻など家族に関して用いる語、陵墓・諸侯など官位や称号、皇室に関して用いる語、連峰・峡谷など地名や地形に関して用いる語、壺・式、甲・乙など証書などで数字や順序を表す語、斤・坪・斗など単位を表す語、又・且つ・但しなど法律文に見られる接続詞について知り、語を見抜く練習で確かめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●特別な分野で使われる語に関心を持ち、その語義を確かめ、理解語彙にしようとしている。 				<ul style="list-style-type: none"> ●理解語彙の拡充を図り、既習の漢字と関連させて未知の漢字を理解する方法を身につけている。 				(1)ウ(ウ)イ
文法の学習5	文・文章	1	0.5	<ul style="list-style-type: none"> ●文・文章について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●文の組み立て、文の成分、文の成分の種類、文の成分の並べ方、複雑な文の構造、文末の表現、文章の構造について知る。 ●練習問題で確かめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●文・文章について知り、その知識を言語活動に生かそうとしている。 				<ul style="list-style-type: none"> ●文・文章についての見方、考え方、知識を身につけている。 				(1)イ(イ)

単元名	教材名	時数	学校での授業時数	学習目標・学習活動・評価規準						学習指導要領との対応				
				学習目標	学習活動・内容	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	A話すこと・聞くこと	B書くこと	C読むこと	伝統的な言語文化他
情報と表現 2	言葉で伝える（手紙・メール・言語）	3	1.5	●思いを伝えるメディアについて考えを深める。	●言語と身振りによる二つのことづつでリレーの体験から、身振りと比較して、言語による伝達の特徴と伝達可能な内容を捉え、交流する。 ●谷川俊太郎の詩を読み、話し言葉と比較して、書き言葉による伝達の特徴と伝達可能な内容を捉える。 ●書き言葉による代表的な伝達方法である手紙について、さまざまな観点から考え、話し合う。 ●手紙とメールについて、形式や内容などさまざまな観点から比較し、話し合う。 ●女の子の感想を参考にして、メールによる伝達の特徴と伝達可能な内容について考えたことを書く。 ●手紙でしか伝えられないことを捉え、自分なりにメールと手紙の使い分けを考え、ノートなどに書く。	●思いを伝えるメディアについて考えを深めようとしている。	●二つのことづつでリレーの体験から、言語による伝達の特徴と伝達可能な内容について、交流している。 ●書き言葉による代表的な伝達方法である手紙について、さまざまな観点で話し合っている。 ●手紙とメールについて、形式や内容などさまざまな観点で比較し、話し合っている。	●女の子の感想を参考にして、メールによる伝達の特徴と伝達可能な内容について書いている。	●二つのことづつでリレーの体験から、言語による伝達の特徴と伝達可能な内容を捉えている。 ●谷川俊太郎の詩から、書き言葉による伝達の特徴と伝達可能な内容を捉えている。 ●書き言葉による代表的な伝達方法である手紙について、さまざまな観点から考えている。 ●手紙とメールについて、形式や内容などさまざまな観点で比較している。 ●女の子の感想を参考にして、メールによる伝達の特徴と伝達可能な内容について考えている。 ●手紙でしか伝えられないことを捉え、自分なりにメールと手紙の使い分けを考えている。	●メディアの違いによって伝達可能な内容が異なることを理解し、何を伝えたいかによってメディアを使い分けることができる。	(1)アイウエ (2)アイ	(1)アイウエ (2)アイ	(1)アイウエオ (2)アイ	(1)イ(イ)(ウ)(エ)
読書 2	宇宙が叫ぶ	2	1	●筆者の発想と表現を見つめ、芸術創作について考える。	①梵鐘の写真や震える梵鐘の描写から、完成した作品を前にした筆者の興奮や感動を感じ取り、交流する。 ②筆者の創作姿勢について考えたことをノートなどに書く。	●筆者の発想と表現を見つめ、芸術創作について考えようとしている。	●梵鐘の写真や震える梵鐘の描写から、完成した作品を前にした筆者の興奮や感動から、感じたことを交流する。	●筆者の創作姿勢について書いている。	●梵鐘の写真や震える梵鐘の描写から、完成した作品を前にした筆者の興奮や感動を感じ取っている。 ●筆者の創作姿勢について考えている。	●随想の特徴を理解している。	(1)アイウエオ (2)アイ	(1)アイウエ (2)アイ	(1)アイウエオ (2)アイ	(1)イ(イ)(ウ)(エ) (1)ウ(ウ)(イ)
	過去を超える回想の力（孔子・利休の死）	2	1	●歴史を素材にした創作を読み、歴史小説の表現について考える。	①「孔子」と「利休の死」を比較し、相違点と共通点を捉え、ノートなどにまとめる。 ②言葉の力によって、出来事がどのように再構成されているかに着目して、他の歴史小説を読み、魅力を紹介し合う。	●歴史を素材にした創作を読み、歴史小説の表現について考えようとしている。	●言葉の力に着目して他の歴史小説を読み、魅力を紹介し合っている。	●「孔子」と「利休の死」を比較し、相違点と共通点について書いている。	●「孔子」と「利休の死」を比較し、相違点と共通点を捉えている。 ●言葉の力に着目して他の歴史小説を読み、その魅力を捉えている。	●歴史小説の特徴を理解している。	(1)アイウエオ (2)アイ	(1)アイウエ (2)アイ	(1)アイウエオ (2)アイウ	(1)イ(イ)(ウ)(エ) (1)ウ(ウ)(イ)
読書案内	網を編む（文学から）	0	0	●文学教材から読み広げる方法を理解する。	●文学教材から読み広げる方法を理解する。	●文学教材から読み広げる方法を理解しようとしている。				●発展的に読み広げる方法を理解している。			[(1)ウ] [(2)ウ]	(1)イ(イ)(ウ)(エ)
言語の学習	二年生の文法の学習	3	3		「文法の学習」で取り上げた文法事項について、知識を整理する。									(1)イ(ウ)(エ)
	二年生の語句・語彙の学習	2	2	●意味による語のグループ分けについて系統的に理解し、言語生活上のさまざまな活動に生かす。	●意味による語のグループ分けについて興味を持って学び、言語生活上のさまざまな活動に生かす。	●意味による語のグループ分けについて興味を持って学び、言語生活上のさまざまな活動に生かそうとしている。				●語の意味の特徴に着目して、類義語、同音異義語、対義語、上・下位語のグループ分けについて系統的に理解している。				(1)イ(イ)
	古典文法	0	0	●文語の語法・文法について理解を深める。	●文語の語法・文法について、巻末折込み活用表と共に、古典読解の必要に応じて参照する。					●日本語の主体的な継承者として文語に関心を持っている。				(1)イ(エ)
	今に伝わる注意したい古語	0	0	●文語の語彙について理解を深める。	●文語の語彙について、古典読解の必要に応じて参照する。					●日本語の主体的な継承者として文語に関心を持っている。				(1)イ(イ)

【注】①上記は、学習過程における学習者の学習成果を判断するための規準として提案しています。今回大幅増補した「学びの窓」（手引き）に完全準拠して作成しました。学習に生かすための評価基準については、各学校の考え方や学習者の状況に応じて工夫していただきたいと思います。

【注】②◎で示したのは「表現に向かう読み」（単元を貫く言語活動）の大目標（表現目標）です。

【注】③読解教材の学習活動の●数字は、「学びの窓」の番号を示します。無番号の●は「まとめ」などの活動です。

【注】④「一」で示した時数は、次のように前の教材の時数に含めて考えています。（「短歌十五首」→「短歌（解説）」）